







平成25年度末の復旧状況

市では平成二十三年十月に策定した「いわき市復旧計画」に基づき、震災で被害を受けた道路や橋りょうなどの社会基盤、公共施設などの復旧に取り組んでいます。昨年度末時点の当計画の進捗状況をお知らせします。

三年間で取り組んだ
事業費は
約六百五十五億円

復旧事業の総事業費は、当初の計画では約六百十四億円と見込んでいましたが、復旧手法の変更や、関連する他事業との調整などにより、約百九億円増額となり、現時点では約七百二十三億円と見込んでいます。

また、昨年度末時点の進捗状況は、一部、平成二十五年内に完了できなかった事業はあるものの、平成二十三年度からの三年間の総事業費は、契約事業費（発注などの実績を反映した事業費）ベースで約六百五十五億円の事業に取り組んできました。進捗率としては、約九十一%が契約済みとなっています。

	施設等名	復旧前	復旧後
主な復旧状況	高坂幼稚園		
	江畑町地内ため池		
	四倉町戸田地内農業用取水堰		

〈表1〉契約事業費ベースの進捗状況（当初計画との比較）【単位：百万円】

区分		H23年度	H24年度	H25年度	H26年度以降	合計
当初計画	事業費	単年度 38,099	12,550	10,734	28	61,411
		累計 38,099	50,649	61,383	61,411	61,411
	進捗率	単年度 62%	20%	17%	1%	100%
		累計 62%	82%	99%	100%	100%
実績	事業費	単年度 27,092	27,988	10,397	6,817	72,294
		累計 27,092	55,080	65,477	72,294	72,294
	進捗率	単年度 37%	39%	15%	9%	100%
		累計 37%	76%	91%	100%	100%

小区分での進捗率は約九十四%
市復旧計画に位置付けた対象施設の種類によって分けた小区分ごとに進捗状況を整理すると、全百二十四区分のうち百十六区分（約九十四%）で既に復旧が「完了」しています。なお、残り八区分（約六%）については、復旧手法

の変更や、関連する他事業との調整などに伴い、一部の工事などが平成二十六年に繰り越すなど、計画と比較して遅れが生じていますが、今年度中には完了する予定です（図1）。

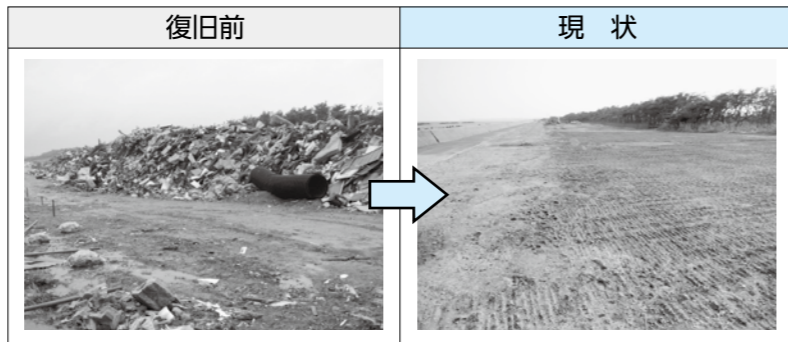
トを達成するため、引き続き、未しゅん工および未契約となっている事業の早期の契約と完了を目指し、復旧事業に取り組んでいきます。

お問い合わせ
行政経営課行政経営係
☎22・1216

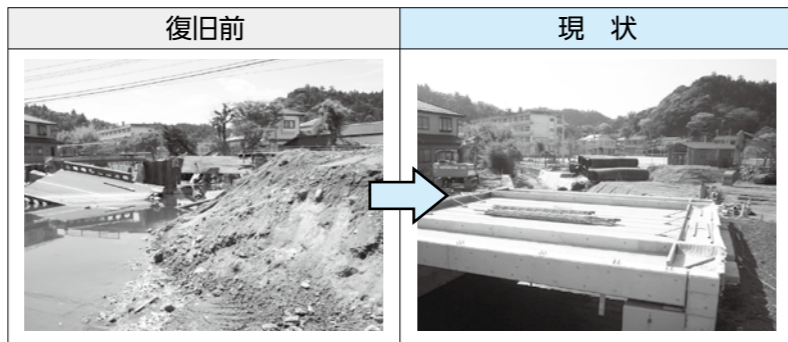
平成二十六年度においては、市民の皆さんに示した計画上の進捗率百パーセン

〈一部遅延の例〉

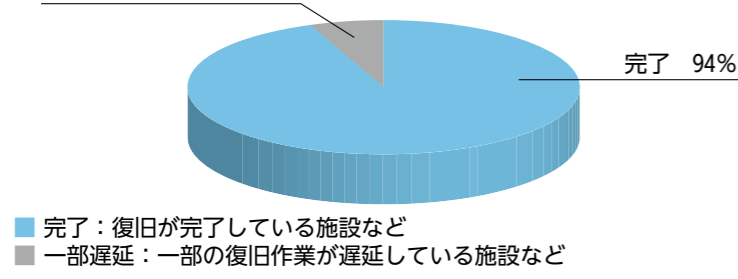
○四倉地内
仁井田川河口広場仮置場（がれき処理）
がれきの発生総量82.3万トンのうち、平成25年度末までに69.5万トンの処理が完了。津波堆積物の細選別などに期間を要しているが、平成26年中にがれき処理を完了し、仮置場の整地等の原状復旧を、平成26年度末までに完了する予定。



○永崎地内
橋出馬落前線（大平川1号橋）橋りょう
崩落した橋りょうの撤去作業を行ったところ、大量のがれきが埋没していたため、がれき撤去に不測の期間を要したが、平成26年中にしゅん工する予定。



〈図1〉昨年度末における小区分（施設）別の進捗状況
一部遅延 6%
完了 94%



木造住宅の耐震化を支援

建築指導課指導係 ☎22-7516

○木造住宅耐震診断者を派遣

- ▶対象 昭和56年5月31日以前に着工された3階建て以下の戸建て木造住宅
- ▶募集戸数 24戸程度



○木造住宅耐震改修を支援

- ▶対象 昭和56年5月31日以前に着工された3階建て以下の戸建て木造住宅で、耐震診断の結果、耐震基準に適合していないものと診断されたもの
- ▶募集戸数 8戸程度
- ▶補助額 ①一般耐震改修工事=対象経費の1/2以内（上限100万円） ②簡易耐震改修工事・部分耐震改修工事=対象経費の1/2以内（上限60万円）

○案内（共通）

- ▶申込期間 7月1日（火）～8月29日（金）
- ※対象住宅の条件や申込方法など詳しくは、同課へ。